東京都、国際大会透明化へ指針 運営組織設立時から関与

#東京 #Tokyoオリパラ #関東

2022/12/26 18:38

東京都の国際スポーツ大会のガバナンス強化に向けた有識者会議（26日、都庁）

東京都は26日、国際スポーツ大会の透明性確保に向けた有識者会議を開き、都の関与のあり方を示すガイドラインを策定した。都が大会運営組織の設立時から助言などで関与する。具体的には、適切な役員らの選任、予算や契約などの内部統制と外部チェックなどを挙げた。

ガイドラインは東京五輪・パラリンピックを巡る汚職事件などを踏まえて策定した。ガイドラインを適用する大会は、都と大会運営組織が協議して決める。多数の国・地域から参加が見込まれ、知名度があり、主要会場が都内にあるなど多くの意義があることを要件とした。

都は大会運営のサポートを適切に実施するため、運営組織と協定を締結する。財政支出をする場合、都と運営組織が共同でチェックする仕組みを整備する。準備状況や収支などの報告を求めることもある。

有識者会議には委員の弁護士3人らが出席。事務局を担う都は、東京オリパラのテスト大会事業を巡る入札談合事件を受けて実施していた契約手続きなどの調査状況も報告した。

東京都は2025年の世界陸上と聴覚障害者の総合スポーツ大会「デフリンピック」でガイドラインを活用する方向だ。